



## 内容

- 1面 第3次船橋市男女共同参画計画
- 2面 センターからの事業報告
- 3面 地域で輝く女性  
クロスワードパズル
- 4面 コンクール入賞者・作品発表  
男女共同参画センターの案内  
各種相談窓口のご案内

\* 編集・発行 \*

# 船橋市市民生活部 男女共同参画センター

〒273-0003  
船橋市宮本2-1-4 船橋スカイビル1F  
TEL 047-423-0757  
FAX 047-423-3007  
Eメール danjo@city.funabashi.lg.jp

## 第36号 平成29年11月発行

情報誌「ふえふ」は、町会・自治会の皆様のご協力でご世帯に配布しているほか、男女共同参画センターをはじめ市の施設で配布しています。情報誌へのご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。

**「第3次船橋市男女共同参画計画」  
「ふえふ」プランが29年度より  
スタートしました**

### 計画策定の趣旨

男女が互いにその人権を尊重し、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができ、男女共同参画社会の実現を目指し、第3次船橋市男女共同参画計画を策定しました。

### 計画の性格

「男女共同参画社会基本法」に基づく本市における男女共同参画社会の形成を促進するための基本となる計画です。

また、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく市町村推進計画及び「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく市町村基本計画として位置づけられます。

### 基本理念

前計画と同様に3つの柱を基本理念としています。

#### ①男女平等と人権の尊重

男女共同参画社会の根底をなすのは、人権の尊重であり、社会全体での男女平等意識の浸透が重要となります。

### ②政策立案、方針決定の場への男女共同参画

男女共同参画社会の実現には、あらゆる場へ男女がともに積極的に参加し、意見が反映され、それぞれが責任を担っていくことが求められます。

### ③家庭生活と社会生活の両立

男女がともに生き生きと安心して暮らせるよう仕事と生活の調和を図ります。

### 計画の期間

平成29年度～平成33年度までの5年間です。

### 基本計画

「施策の体系」に示したとおり、「人権が尊重され、男女が平等である社会」を目標とし、3つの課題を掲げています。

### 課題

#### I 女性が活躍できる環境づくり

市の政策・方針決定過程への女性の参画を推進し、企業や地域において女性の活躍が促進されるよう啓発します。また、ワーク・ライフ・バランスの重要性を広く周知します。

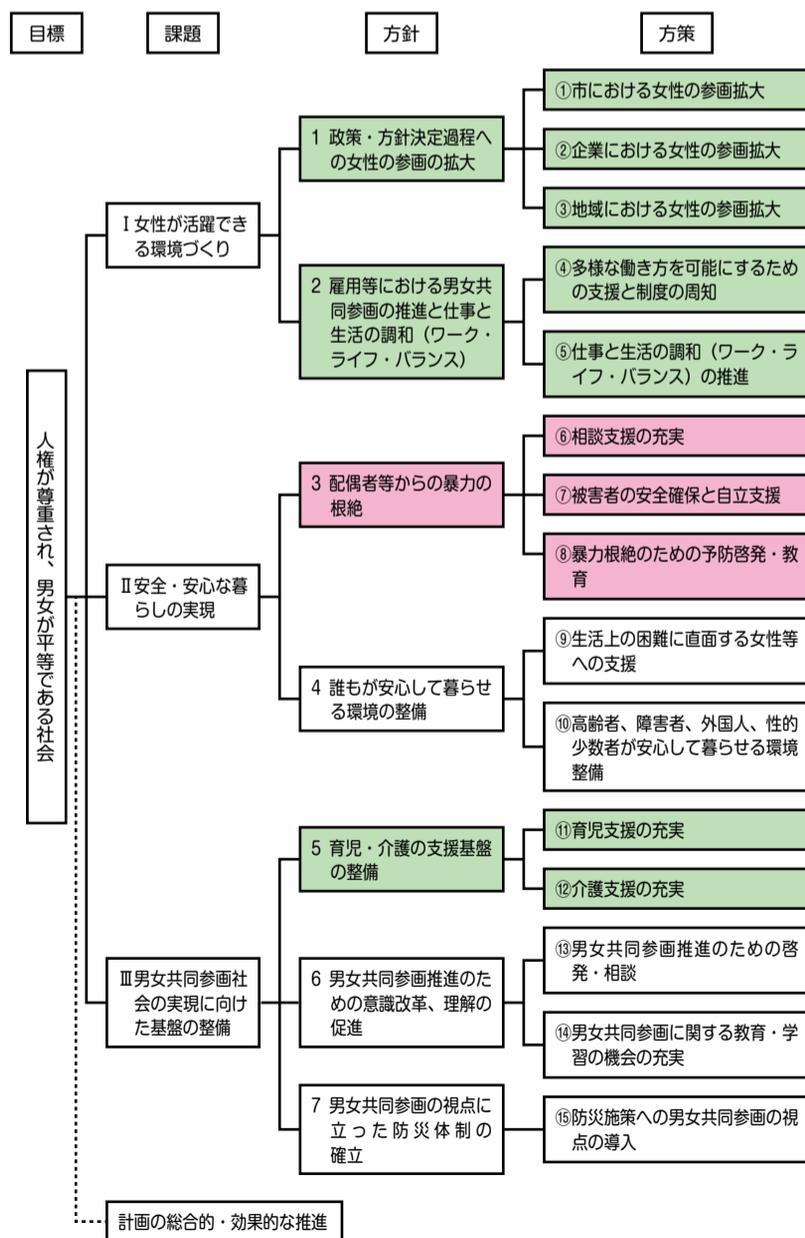
#### II 安全・安心な暮らしの実現

配偶者等からの暴力の根絶に向けて相談体制の充実や相談窓口の周知を行うとともに、生活上の困難に直面する女性や高齢者等が安心して暮らせるように支援を行います。

#### III 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

男女共同参画社会の実現のため育児・介護の支援基盤の整備を進めるとともに、教育・学習の機会の充実を図ります。また、災害時の備えとして男女共同参画の視点に立った地域活動が推進されるよう意識啓発を行います。

## 施策の体系



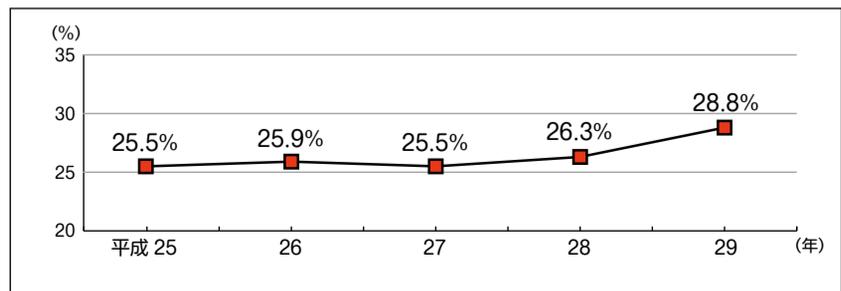
■「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく市町村推進計画  
■「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく市町村基本計画

## 市政に参加しましょう

審議会等は市の政策に、市民や有識者の意見を反映させるための機関です。

本市の審議会等の委員のうち女性の割合は28.8%（平成29年4月1日現在）で、男女がともに暮らしやすい市とするためには、女性委員が不足していると言えます。多くの審議会等では委員を募集し、募集についてはホームページや広報ふなばしでお知らせしています。委員に応募し、あなたの声を船橋市のまちづくりに反映させましょう。

審議会等の女性委員の割合（船橋市）



# センターからの事業報告

男女共同参画センターが行った事業の一部を紹介いたします！

平成28年度

## ワーク・ライフ・バランス講演会

「ワーク・ライフ・バランスで豊かな日々を」  
料理研究家・コウケンテツさん

平成28年11月27日(日) 市民文化創造館(きららホール)にて、料理研究家として活躍されている「コウケンテツさん」をお招きし、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマに講演会を開催しました。

「コウさんは、まず、先進国である日本の野菜の供給量や自給率が低いことを問題として挙げられました。平成17年に食育基本法が制定されたことで、ようやく国を挙げて学校給食や、野菜を中心とした郷土料理をはじめとする食の在り方が見直され始めます。結果として、郷土料理の復活に努めた地域の平均寿命は上がりました。」

「このように、人の健康や寿命は食べた野菜の量に比例することから、今食へて



いる料理が自分の10年後を左右するという「食育」を意識してほしいと話されました。

次に、家族が揃って食事をしないという家庭内での孤食や、十分な休憩時間が取れない仕事上の食事の仕方の問題を取り上げました。家族や気の合う仲間との楽しい食事は脳に「幸せホルモン」(オキシトシン)をもたらし、とても大切な事だそうでした。

「コウさんのマネージャーは「コウさんの奥さんが務めています。2人で働きながら子育てをすることに對する不安はありましたが、コミュニケーションを多くとり、協力しながら家事も仕事も役割分担することで、当初抱えていた不安は解消されました。」コウさんは、

家族みんなである食事の時間を特に大切に考えており、朝夕の食事の時間を決めて動くことで、計画的に仕事や家事をこなせるようになり、お子さんと遊ぶ時間や睡眠時間が今まで以上に取れるようになったそうです。

子どもたちと接するうちに、子どもは父親の真似をしやすいくことに「コウさんは気づきました。コウさんのお子さんも小さいうちから「コウさんの真似をして料理をするようになった。それをきっかけに、ゴミ出しや水遣りなど他のことも積極的にやってくるようになった。」

日本は平成26年の男女平等に関する指数を表すランキングで、142か国中104位であり、まだ、家事は女性が担い、男性が家事をやることは「手伝い」だという意識が強いように感じるそうです。しかし、他のアジア諸国では、女性も社会に出て働き、趣味も楽しんでいく様子が見られます。反対に、男性は家事をよくこなします。これが男女の本来の姿であるのではないだろうかと締め括られました。

講演会終了後、「これからのライフワークについて考えてみたい」「夫ともしっかりと家庭のことについて話したい」と感じた「食の大切さに気付かされた」等の声が寄せられ、市民の皆様が家庭と仕事を両立することや、食事について考えるきっかけとなりました。

平成28年度 市民企画講座

## 「LGBTってなんだろう?」互いの違いを受け入れあえる社会をめざして

講師：NPO法人 ReBit

平成29年3月11日(土)、NPO法人 ReBit(リビット)から3名の講師をお招きし、「LGBTってなんだろう?」を開催しました。LGBTとは、L(レズビアン・女性同性愛者)、G(ゲイ・男性同性愛者)、B(バイセクシュアル・両性愛者)、T(トランスジェンダー)からなる性のこと。その性が一致しない人という、それぞれの言葉の頭文字を取り、性的少数者であることを総称したものです。平成27年に行われた調査では、日本国民の約7.6%、約13人に1人という結果が得られました。そして、この言葉に代表される4つの性だけでなく、多様な性の形について、講師の方々は「からだの性」と「こころの性」「好きになる性」そして「表現する性」の4つの要素を軸に説明されました。

講師の方々からは、このよう性的少数者に関する基本的な知識だけでなく、ご自身の実体験や学校でのこと、就職でのこと、将来のことなど、日々の生活の中で抱えている不安など、リアルな声を伺うことが出来ました。性的少数者への理解を進める

ためには、異性愛を前提とした会話をしないこと、「オカマ」「ホモ」「レズ」などの差別用語を使わないこと、個々のセクシュアリティを決めつけたり、否定したりしないこと、カミングアウトされたことを本人の同意なく広めないことなどを日頃から意識することが大切である、ということでした。そして、最後に、性的少数者に関して理解があり、味方であることを自分から発信し、「逆力ミングアウト」してほしい、と締め括りました。

お話を伺うことで、今まで性的少数者に関する知識のなかった方からも「親近感が湧いた」「支援し、応援したいと感じた」という声が多く寄せられ、LGBTに関する理解が深まるきっかけを提供することが出来ました。



平成28年度

## 夏休み親子防災講座

講師：船橋S.L.ネットワーク

平成28年8月3日(水)に船橋S.L.ネットワークから講師を招き、小学生親子を対象にした「夏休み親子防災講座」を開催しました。災害に遭った際に危険な場所や、支援に使える場所を記した「ハザードマップ」を参加者の方々が自分で歩き、作成しました。「ハザードマップ」とは、災害時の避難経路や危険な場所、安全な場所を書き込んだ地図のこと、災害時に役立つものです。

また、保護者の方向けに、「女性の視点から見た防災・避難所運営」というテーマで、災害時、女性にも防犯活動の主体的な担い手になってほしいという趣旨で、講師からお話がありました。その後行ったグループワークでは、避難所に必要な物や災害時自分に出るべきこと等について活発に意見が交わされました。

親も子どもも学べる内容の講座であったことから、参加者の方々からは「今まで知らなかったことを知ることが出来た」「実際に被災したら、避

難所運営に積極的に携わりたいと感じた」等の意見が寄せられ、皆さんの防災意識の醸成を促すことが出来ました。



平成28年度

## お手軽レシピ実践講座

講師：村上 誠さん 栗田 傳さん

平成29年1月24日(火)、NPO法人ファザリングジャパンの村上誠さん、宮本地区社会福祉協議会の会員である栗田傳さんをお招きし、孫や子どもがいる男性を対象に「お手軽レシピ実践講座」を開催しました。

村上さんからは、まず、昔と今の子育てにおける常識の違いについてのお話がありました。例えば、今は赤ちゃんの情緒安定のためにも泣いたら抱っこをした方がよいとされていますが、昔は抱き癖がつくからよくないとされていた、という紹介がありました。このような育児における世代間のギャップによる無理解や思い込みが、祖父母と父母のトラブルを産み出すことでもあります。

核家族が進み、各家庭内の子育ての負担は増大していますが、育児は親が中心となっていくのが基本です。そこで、祖父母はそのサポートに徹し、さらには自分の孫だけでなく地域の子育てに関わる事で、子どもを軸に、家庭や地域が繋がる、という一連のメリットについてもお話がありました。

それらを踏まえ、栗田さんからは、ご自身の地区社会福祉協議会で実際に行っている活動を具体例に挙げながら、男性が地域活動に参加することに よって地域力の向上が図られる、などのお話がありました。



その後、講座に参加した皆さんで、発酵のいろいろなポップオーバーというパ

ンを中心とした、「孫も一緒に楽しめる朝食」をテーマにした料理を作りました。料理が好きな男性も、料理に不慣れた男性も、皆で協力し、美味しく楽しい食事をする中で、男性の家事や育児に対する興味を持つきっかけになりました。



平成29年度  
**男女共同参画センターフェスティバル**  
 6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。

男女共同参画センターでは、この週間に合わせて、平成29年6月19日(月)～24日(土)までの6日間、「男女共同参画センターフェスティバル」を開催しました。「笑顔でつながる幸せ」をテーマに、男女共同参画センターを利用している15団体が、運営委員会と協力し、21企画を行い、連日、多くの来場者が訪れ、とても賑やかな6日間となりました。

運営委員の企画では、「笑顔の先生」である岡谷佳代さんを講師にお招きし、参加者同士の交流を深めました。

また、「笑顔ゲーム」を開催しました。参加者からは、「また企画してほしい」という速実践してみたい」というような前向きな感想が多く寄せられました。

また、各団体の交流を深めるきっかけとなりました。



- 展 示**
- ◆自己人生の文字を書こう
  - ◆わたしの一枚
  - ◆短歌を詠い豊かな人生を
  - ◆GWTで人生を豊かに!
  - ◆DV、モラハラのない社会を目指して
  - ◆写真を楽しむ
- 講 座**
- ◆熊本被災地復興支援
  - ◆シニアのためのSNSワークショップ①、②
  - ◆源氏サロン
  - ◆見方を変えれば意識も変わる
  - ◆民話の語り
  - ◆ドキュメンタリーDVDマララ
  - ◆認知症患者は2025年に700万人を突破! アイパッドで認知症にはならんゾウ!
  - ◆未病とくすりについて学ぼう
  - ◆女性市議と語る2017
  - ◆語り詠い、遊ぶ言葉! ことば! コトバ!
  - ◆笑顔ゲーム
  - ◆ゆるかわスケッチ入門
- その他の企画**
- ◆映画上映会「みずび」
  - ◆映画上映会「ホーム・スイートホーム」

**地域で輝く女性**  
 平山優子さん



防災リーダーとして活躍されている平山さんにお話を伺いました!

**Q** 始めに、平山さんのお仕事や、普段していることをお聞かせください。

**A** 仕事は事務のパートをしています。他の時間に消防や防災などのボランティアを行っています。



**Q** 消防や防災に関するボランティアについて教えてください。

**A** 消防では、「応急手当指導員」の認定を受け、消防機関が実施する全ての救命講習のインストラクターとして活動しています。

防災では、「上級セーフティリーダー(通称SLL)」「防災士」の資格を取得し、地域の活動団体(船橋SLLネットワーク)に加入し、主に市民の方を対象に、防災に関する知識の普及のための講座で講師をしています。

**Q** その活動の中でのやりがいは何ですか?

**A** 講座に参加した方々が防災に関して正しい知識を持ってもらえることや、人とのつながりが出来ることがとても嬉しいし、やりがいになっています。

**Q** では、船橋SLLネットワークについて教えてください。

**A** 船橋SLLネットワークの目的は、「地域の防災リーダーを育成すること」です。そのため、自治会や町会、社会福祉協議会などで講座を開催することにより、地域における防災の啓発活動を行っています。

次は自分たちが防災訓練を行えるよう、そのためのスキルを伝えています。

**Q** その団体の中での平山さんどのような役割を担っていますか?

**A** 私は船橋SLLネットワークでは、企画部として

講座依頼の全般管理と会員向けの研修会を担当しています。

数年前に代表から、「女子部を発足するから、取りまこめしてほしい」とお願いされたことがきっかけで、「男女共同参画の視点を取り入れた防災」の分野についても学んでいく中で、阪神淡路大震災の頃から防災や支援に携わっている団体と出会いました。

今年度は、その繋がりが縁で、杉並区やいわき市で行う講座に講師として参加します。

**Q** 平山さんは現在、防災や災害の現場でどのようなことが課題だと思いますか?

**A** まずは固定的役割分担意識に関する問題です。災害時は特に、女性に育児や介護などの負担が集中しがちです。また、暴力に遭う恐れもあります。

反対に、男性は、経済的にも精神的にも家族を支えなくてはいけない、と責任を抱え込み、追い詰められてしまいがちです。実際に、仮設住宅で亡くなるのは男性が多いのです。

次に問題なのは、男女のニーズの違いが理解されていないことです。女性の負担しがちな子育てや介護の場が必要な物資が提供されていないのです。それは、災害に関する取組の決定がなされる場面に女性が参画できていないことが原因だと考えられます。

他にも、仕事の解雇や雇



船橋SLLネットワークの一員として講座を行っています。

**Q** 最後に、市民の方々の防災において何が一番大切だと思いますか?

**A** 自分の身は自分で守る備えをし、災害時は地域の人と協力をして、あなたができることをやりましょう。困っていることは声に出し、困っている人には声をかけるようにしてほしいと思っています。

**Q** 防災の最前線で活動をされている平山さんからお話を伺ったことで、被災時、自分に何が出来るのか考えていきたいと思いました。平山さん、貴重なお話をありがとうございました!

1		2		3	4
				5	
6	B	7			A
8				9	
		10	C	11	
12				D	

**クロスワードパズル**

**【問題】** クロスワードパズルのマス目の中のA～Dまでをつなげた言葉をカタカナ4文字にして答えてください。

**たてのカギ**

- 氷河期に生息していたゾウ科の巨大な哺乳類。
- 少女・女の子を意味する英語。
- 秋にだんごやすきを供えて観賞する天体。
- 互いに心を許しあい、共に遊んだり、話したりする友情が成り立つ相手。
- 模型の自動車や飛行機などを無線で遠隔操作するシステム。
- 主として木造建築物の建築・修理を行う職人。
- 昨今、健康法としても行われているインドの心身鍛錬の修業。

**よこのカギ**

- 春に咲くキク科の植物。恋占いに用いる。
- 「海のアオグラ」と称されるほど美味しいアンコウなどの魚介類の内臓のこと。
- マナーよりも普遍的な倫理観や道徳意識。
- みかんの白い部分の俗称。
- 広い意味での「地形」。地面、土壌、陸など。
- 「今夜」「今晚」の古めかしい言い方。
- 音楽を演奏し、聴衆に聞かせること。コンサート。

**【答え】** ○○○○きょうどうさんかく

**【応募方法】**

郵便はがきに、(1)パズルの答え、(2)名前、(3)年齢、(4)住所、(5)電話番号、(6)この情報誌を読んでのご意見ご感想などをご記入の上、平成30年1月末日(消印有効)までにご応募ください。ご応募いただいた方の中から、抽選で20名様に粗品をお送りいたします。抽選の結果は、平成30年2月中旬の粗品の発送をもって発表にかえさせていただきます。なお、いただいた個人情報は、抽選の目的以外には使用いたしません。

(応募はがきの宛先) 〒273-0003 船橋市宮本2-1-4 船橋市男女共同参画センター 宛

# 平成29年度コンクール入賞者・作品発表

(敬称略)

男女共同参画に関する標語と、写真のコンクールを行いました。たくさんのご応募ありがとうございました。今回受賞された方の作品は、当センターホームページでもご覧いただけます。

## 写真コンクール

妹大好きで、よく遊んでくれます。

最優秀賞 「ボクのいもうと」 深野節美



優秀賞 「近所のご夫婦」 佐藤弓子



優秀賞 「直るかな!」 村田ふじ子



優秀賞 「田植え」 大川佐多子

## 標語コンクール

- 最優秀賞** 共に作ろう、男女(みんな)が輝く船橋市  
海神中学校 3年 石田理香子
- 優秀賞** 支え合い 人それぞれの 思いやり  
行田中学校 1年 新原実緒  
認め合おう 一人一人の 豊かな色を  
三山中学校 3年 小林瑚都
- 優良賞** 生きていく 手と手とりあい 支えあい  
御滝中学校 3年 佐藤萌花  
男女共 手を取り合って 助け合う  
船橋中学校 2年 数藤央乙  
かがやこう 男女の力と 協力で  
古和釜中学校 1年 菊地美如

- 優 ◆「パパとゆらゆら楽しいな!」 藤井千佳
- 良 ◆「水まき」 小出由志子
- 良 ◆「ふとん敷きのお手伝い」 岩田敦子
- 賞 ◆「緊張する〜!」 鈴木操子
- ◆「若い力」 寺田美知子

## 船橋市男女共同参画センターの案内

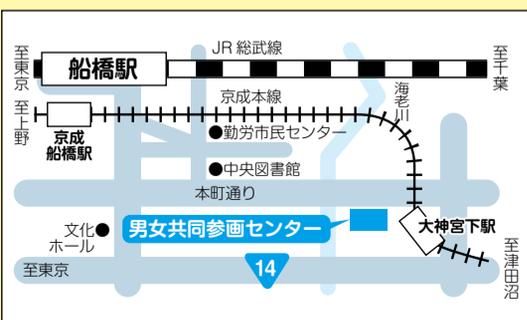


月曜日～土曜日 9時～22時  
(毎週日曜日・祝休日・年末年始除く)  
JR船橋駅から徒歩12分 京成線大神宮下駅から徒歩5分  
※駐車場はありません

男女共同参画センターは、職場や家庭などのあらゆる場で男女が平等な立場で参画し、自分らしく生きることのできる社会を目指し、各種講座の開催や会議室の貸出、相談業務などを行っています。

### ★施設案内★

- ・会議室  
使用登録をした団体等に有料で部屋を貸し出しています。
- ・図書コーナー  
1人につき3冊まで2週間貸し出しています。
- ・交流コーナー  
個人でもグループでも自由に使っていただけます。



詳しくはお問い合わせください。

## 各種相談窓口のご案内

(相談無料・通話料は自己負担)

### 船橋市男女共同参画センター 047-423-0757 (予約受付)

#### 女性の生き方相談

◇女性のカウンセラーが相談に応じます  
(予約制)

毎週金曜日 10時～16時  
毎月第3水曜日 16時30分～21時

#### 女性のための法律相談

◇女性弁護士が相談に応じます  
(予約制)

毎月第1木曜日、第3月曜日、第4水曜日  
※時間はお問い合わせください

#### 男性の生き方相談

◇男性のカウンセラーが相談に応じます

047-423-0199 <専用電話>

(予約不要)

毎週月曜日(祝休日の場合は火曜日、年末年始を除く)  
19時～21時(電話相談のみ)

## 女性相談室

### 女性相談

◇婦人相談員が相談に応じます  
(面接相談は要予約)

047-431-8745 <専用電話>

月曜日～金曜日 9時～16時  
第2、第4土曜日 9時～16時  
※祝休日・年末年始を除く

### 配偶者や恋人からの暴力は

絶対に許されません!

ひとりで悩まず相談を…  
～秘密は守られます～

#### 千葉県女性サポートセンター

043-206-8002 <専用電話>  
女性からの相談を365日24時間受け付けています  
※面接相談有 平日9時～17時(要予約)

#### 千葉県男女共同参画センター

☆女性のための総合相談

火曜日～日曜日 9時30分～16時

月曜日が祝日の場合は翌日火曜日、  
祝日、年末年始、臨時休日は休み

04-7140-8605 <専用電話>

☆男性のための総合相談

火・水曜日 16時～20時

月曜日が祝日の場合、翌日火曜日は休み

043-285-0231 <専用電話>

### 性犯罪・性暴力被害者のための ワンストップ支援センター

あなたは悪くありません。(秘密厳守・相談無料)  
【支援内容: 電話相談、面接相談、医療支援、カウンセリング、法律相談など】

#### ◆NPO法人千葉県性暴力被害支援センター ちさと

緊急医療支援は24時間365日受けられます。

043-251-8500

月曜日～金曜日 9時～21時、土曜日 9時～17時  
(祝休日・年末年始を除く)

#### ◆公益社団法人 千葉県被害者支援センター(千葉CVS)

医療機関や裁判所などへの付き添い支援が受けられます。

043-222-9977

(※犯罪被害全般の相談 043-225-5450)

月曜日～金曜日 10時～16時  
(祝休日・年末年始を除く)